

(2) 講 評

○委員長 それでは、講評をさせていただくことにしたいと思います。よろしいですか。

精密単独測位型RTK (PPP-RTK) を用いたリアルタイム地殻変動把握技術の開発というこの研究に関しましては、基本的には大変重要な、といいますか、応用力のある研究課題ですので、鋭意進めていただきたいということです。特に単独のGPS基地をリアルタイムで精度よく位置決めをする技術は、この地殻変動把握技術の問題ばかりではなくて、より広い基礎的な技術として大変重要な課題であるということがありますので、地理院としての重要な課題として取り組むべき課題であろうと考えております。

ただ、地殻変動把握技術そのものに関しましては、従来の相対測量測位型によって行われる地殻変動把握のものと比較研究をして、どの程度精度が上がったのか、どの程度計算負荷が軽減されたのか、時間的にどの程度短縮されたのかとか、そういうあたりをちゃんと検証しながら進めていくことが必要ではないかということ。

それから、これは全国を一括して計算するようなことを考えているようですがけれども、適用範囲等々がある場合には、その範囲を用いた場合にはどうなるかあたりも適時検証していくということが必要ではないかという意見が出されましたので、そのあたりを注意してやっていただきたいということがあります。

あと、むしろこれは地理院そのものというよりも、もう少し大きな話でしょうけれども、こういう大きい計算をする場合には、地理院独自の計算機の中でやるというよりも、もう少し国策的な計算、データセンターあたりを用いて一括計算するようなことも考えていったほうがいいのかという意見も出されました。

私からは以上ですが、何か追加することは、よろしいですか。

それでは、「講評」は終わりますので、この研究課題はこれで切り上げます。